

本リリースは、ニッセイ情報テクノロジー株式会社と日本アイ・ビー・エム株式会社の両社から配信しております。重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。

2010年5月31日
ニッセイ情報テクノロジー株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社

日本生命における情報システムの開発およびテスト向け環境を

プライベート・クラウドで構築

ニッセイ情報テクノロジー株式会社(本社:東京都大田区、社長:和田俊介、以下 NISSAY IT)と日本アイ・ビー・エム株式会社(本社:東京都中央区、社長:橋本孝之、NYSE:IBM、以下 日本 IBM)は、クラウド・コンピューティング技術を活用し、日本生命における基幹 Web システムの開発およびテスト向け IT 環境を構築します。本年5月からプロジェクトを開始しており、本年9月から新開発・テスト環境が稼働する予定です。

今回構築する新しい開発・テスト環境の最大の特長は、あらかじめ必要な IT 資源を設計し確保する従来の環境と、開発量の変化に応じて柔軟に資源を割り当てるクラウド・コンピューティング環境の両方を共存させることで、両者の利点を最大限に活用できる構成にすることです。

クラウド・コンピューティング環境では、メモリー、CPU、ディスクなどの IT 資源を一元的に集約し標準化することで効率良く活用するクラウド・コンピューティング技術により、開発やテスト環境の構築時間を大幅に短縮します。一般的に、利用者が要求した IT 環境を使えるようになるまで、サーバーやストレージなどの機器調達を含む場合は、見積もり、発注、機器設置作業、各種設定作業など多くのプロセスが必要なため、要求から1か月程度かかるところを、クラウド・コンピューティング環境では、数時間で用意できることを見込んでいます。

一方、既に着手している開発プロジェクトに影響が無いようにすることと、可能な限り本番環境と同じ構成にしてテスト品質を高める目的で、個別に設計された従来のテスト環境も同一サーバー内に準備します。従来のテスト環境は、将来的には順次クラウド化していくことも可能です。

新たに構築する開発・テスト環境には、IBM の高性能 UNIX サーバー「IBM Power Systems™」と、運用管理ソフトウェア「IBM Tivoli® Service Automation Manager」が採用されました。

1 台で 1,000 個の論理区画を設定できる拡張性に優れた能力を持つ「IBM Power Systems」を活用することで、クラウド・コンピューティング環境と、IT 資源を個別に設計・準備する従来の環境の両方を共存させることを実現します。また、申請や構築の標準テンプレートなどを提供する「IBM Tivoli Service Automation Manager」を活用することで、利用者は容易かつ柔軟に、必要な IT 資源を確保することが可能になります。

NISSAY IT は、10 年以上にわたり、大規模かつ正確さ、迅速さが求められる生命保険のシステムを構築する中で、高度な技術力と業務ノウハウを蓄積し、保険関連ソリューションや資産運用関連ソリューションを広く提供してきました。今回の日本生命での開発・テスト環境向けプライベート・クラウドの環境構築に関しても、そのノウハウを基に、クラウド環境構築サービスを広く提供していくことも視野に入れていきます。

以上

クラウド・コンピューティング技術導入効果の概要図は、別紙をご覧ください。

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、およびTivoli、Power Systemsは、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp.の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml>をご覧ください。

<報道関係者からのお問い合わせ先>

ニッセイ情報テクノロジー株式会社

基盤ソリューション事業部 IT ソリューションブロック 半田

Tel: 03-5714-5768 / e-mail: daisaku_handa@nissay-it.co.jp

経営企画部 広報 高田

Tel: 03-5714-4600 / e-mail: souichi_takada@nissay-it.co.jp

日本アイ・ビー・エム株式会社

広報 金子 Tel: 03-3808-4770 / e-mail: kazk@jp.ibm.com